

科目ナンバリング		U-LAS04 10006 LJ46							
授業科目名 <英訳>	心理学II Psychology II			担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 教授 大倉 得史				
群	人文・社会科学科目群		分野(分類)	教育・心理・社会(基礎)		使用言語	日本語		
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義(対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2025・後期		曜時限	火2		配当学年	全回生	対象学生	全学向
【授業の概要・目的】									
心理学の成り立ちと、人の心の基本的な仕組みおよび働きについて、法心理学の観点から論じる。具体的には、刑事司法における取調べの問題や目撃証言、被疑者、被害者の供述の分析の事例などを扱いながら、心理学の基礎的な知識を学んでいく。前期の心理学II(アイデンティティの問題)とは内容が異なるので、留意すること。									
【到達目標】									
「知覚」や「記憶」、他者との「人間関係」や「コミュニケーション」を通して、「事実」ができていく様相を理解する。刑事司法における諸問題についての見識を深め、供述分析の基本的な手法を習得する。									
【授業計画と内容】									
1. 刑事裁判と心理学(第1~2回) 2. 取調室の心理学(第3回~第4回) 3. 目撃証言の心理学(第5回~第6回) 4. 甲山事件と生み出された物語(第7~8回) 5. 供述分析の考え方(第9回~第14回) 6. フィードバック(第15回)									
【履修要件】									
特になし									
【成績評価の方法・観点】									
レポートと授業中の小課題(レポート70%、小課題30%)。心理学の基礎知識を踏まえた上で、供述分析の考え方と手法を身に付けられているかを評価(素点)の対象とする。									
【教科書】									
使用しない									
【参考書等】									
(参考書) 浜田寿美男『自白の心理学』(岩波新書) 指宿誠・木谷明(他)(編)『供述をめぐる問題(シリーズ 刑事司法を考える 第1巻)』(岩波書店) 村山満明・大倉得史(編著)『尼崎事件 支配・服従の心理分析』(現代人文社) 山本登志哉(編著)『生み出された物語: 目撃証言・記憶の変容・冤罪に心理学はどこまで迫れるか(法と心理学会叢書)』(北大路書房)									
----- 心理学II(2)へ続く -----									

心理学II(2)

[授業外学修（予習・復習）等]

上記の参考書等を読み、「記憶」「供述」「事実」とは何であることを考えておくこと。

[その他（オフィスアワー等）]

教室定員を超える受講希望者が出た場合、抽選を行う。グループワークを多用するので、積極的に発言すること。

「心理学」の単位は1度しか取れないので、前期の「アイデンティティ問題」か、後期の「刑事裁判の問題」か、どちらの内容で履修するかを考えること。